

日本ナシ「石川n1号」の育成

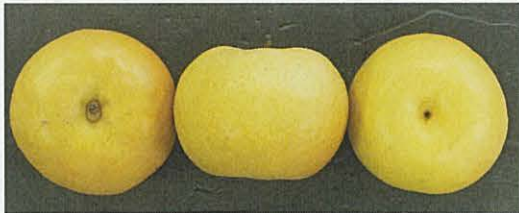
1 背景・目的

日本ナシは本県で最も販売額の大きな果樹品目であるが、9月上旬収穫の「豊水」は価格が低迷している。そこで、9月上旬に収穫可能な石川県オリジナル品種を育成し、ブランド化を図る。



2 技術のポイント

- (1) 平成10年に「鞍月」の自然交雑実生 201 粒を播種した。
- (2) 得られた個体から、9月上旬に収穫でき、酸味が少なく食味がよい1系統を「石川n1号」として、平成26年2月に品種登録出願した。
- (3) 「豊水」と比べて、「石川n1号」はショ糖の含有割合が高く、口当たりのよい甘さである。クエン酸含量が低く、糖酸比が高いことから、糖度は「豊水」と同程度でも甘味を強く感じられると考えられる。



写真「石川n1号」外観

表「石川n1号」の果実品質

品種	果重	硬度	糖度	pH
石川n1号	652g	3.7lbs	13.5%	5.1
豊水	425g	4.8lbs	12.8%	4.8

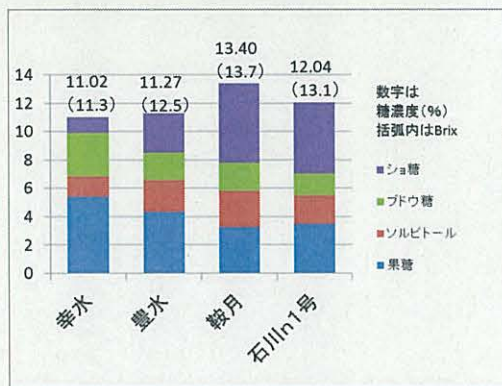


図1 日本ナシ品種の糖組成

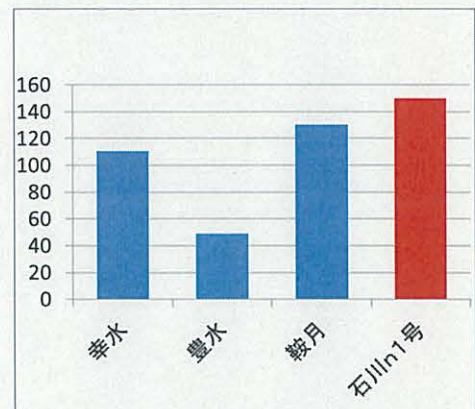


図2 日本ナシ品種の糖酸比

糖酸比 = 糖濃度 (%) ÷ クエン酸 (%)

3 成果の活用と留意点

果面に凹凸ができることがあり、今後の栽培試験で解決していく予定である。

問合先：育種グループ TEL 076-257-6911
 担当者：村濱 稔・石崎佳奈